

■ 今月号の主な内容 ■

- P.2▶
【特集】困ったを良かったに
- P.6▶
【来年4月1日に採用予定の職員を募集します】
- P.8▶
【すくすくクラブ】
- P.11▶
【いきいきシニア】
- P.12▶
【学びの輪】
- P.14▶
【情報アクセス】
- P.27▶
【みんなのひろば】
【ふじみ野写真館】
- P.30▶
【各種相談】
【救急メモ】
- 裏表紙▶
【歴史さんぽ】

歴史さんぽ



百五九

天まで届けホウキモロコシ

日本で見つかった最も古いほうきは、奈良県橿原市の西新堂遺跡から発見された5世紀後半のものだといわれています。昭和40年代に電気掃除機が普及する前は、どこ家庭でもほうきを使用していました。今では、部屋の中を自動で動き回る掃除機も増えています。

市内では、江戸時代の文化・文政期(1804〜1829年)に、上練馬村で修行した大井村市沢(現在の市沢)の内田忠右衛門・留吉兄弟によって、ほうき作りの技術が伝えられたともいわれています。明治時代の後半には生産量も増えて「大井箒」として出荷されました。ほうき作りは農家の副業から、地域の有力な産業に発展し、最盛期の昭和5(1930)年頃には市内に46戸(旧大井地域24戸、旧上福岡地域22戸)で製造し、年産百万本になったともいわれています。

ほうきの主な材料は、トウモロコシに似たイネ科植物のホウキモロコシです。かつては、市内でも多くの農家で栽培していましたが、電気掃除機の普及に伴い、ほうき職人は減り、ホウキモロコシは人件費の安いインドネシアなどの海外産に移りました。現在、市内でホウキモロコシを栽培している農家はありますが、市教育委員会とふじみ野

市ほうき作り友の会で体験学習や、ほうき作り技術伝承のため、平成31年度から市内でホウキモロコシを栽培しています。今年4月末から5月初めにまいた種は、7〜8月の収穫時には2m以上になり、背丈をはるかに超え、天まで届くような勢いになります。夏まで成長を見守り、収穫・脱穀・乾燥後に、丁寧に加工し、立派なほうきになります。

ほうき作りに関心がある人、ホウキモロコシの収穫に参加したい人は、社会教育課文化財保護係までお問い合わせください。



ホウキモロコシ

ACCESS

- 西2・8
- 栽培場所は民有地のため、立ち入りはご遠慮ください。

社会教育課文化財保護係
(TEL049・220・2088)

今月号の表紙
「全力投球」

6月7日、上野台小学校で開催した「元気・健康フェア」で、スピードガン測定に挑む子どもがキャッチャーに向かって全力でボールを投げ、その姿を周囲の大人たちが温かなまなざしで見守っている様子を防球ネット越しに撮影。



市役所案内

市ホームページ URL <https://www.city.fujimino.saitama.jp>

開庁時間 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く。日曜日の休日開庁は31ページをご覧ください)

ふじみ野市役所	〒356・8501 埼玉県ふじみ野市福岡1・1・1	TEL 049・261・2611	FAX 049・266・6245
ふじみ野市大井総合支所	〒356・8555 埼玉県ふじみ野市大井中央1・1・1	TEL 049・261・2811	FAX 049・266・6271
ふじみ野市役所出張所	ふじみ野市サービスセンター2階 〒356・0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1・2・7	TEL 049・261・0353	FAX 049・261・0785

2026(令和8)年7月号
市報ふじみ野
No.250
令和8年7月1日発行

8月号は、7月30日(休)から配布します。市の最新情報やイベントなどをSNSで掲載しています。



人の動き

令和8年
6月1日 現在

人口 ▶ 114,556人(前月比-43)
男=56,473人(前月比-20)
女=58,083人(前月比-23)
世帯数 ▶ 56,544世帯(前月比+17)



印刷：日本印刷株式会社